



平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月9日

上場会社名 株式会社バリューデザイン
 コード番号 3960 URL <https://valuedesign.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾上 徹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 林 秀治

TEL 03-6661-0115

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	1,532	19.2	57		47		40	
29年6月期第3四半期	1,285	11.2	16		44		77	

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 33百万円 (%) 29年6月期第3四半期 77百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	27.64	26.03
29年6月期第3四半期	57.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	1,391	847	60.5
29年6月期	1,308	785	60.0

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 842百万円 29年6月期 785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		0.00	0.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,897	9.1	50		30		29		20.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) VALUEDESIGN(MALAYSIA) 、 除外 社 (社名)
SDN BHD

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年6月期3Q	1,460,300 株	29年6月期	1,452,500 株
30年6月期3Q	32 株	29年6月期	32 株
30年6月期3Q	1,454,551 株	29年6月期3Q	1,351,586 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

機関投資家・アナリスト向けの説明会は当第3四半期では開催しませんが、決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は1,532,344千円（前年同期比19.2%増）となりました。システム利用料売上は引き続き堅調に推移し、前年同期比27.6%増となったほか、ブランドプリペイド事業の初期売上（システム開発）計上等の結果、営業利益は57,584千円（前年同期比74,260千円増）となりました。これにより、通期計画に対する第3四半期連結累計期間での進捗率は売上高80.7%、営業利益114.1%、経常利益156.6%となりましたが、上記ブランドプリペイドの初期売上が、システム開発が早期に完了したことで計画より早く計上されたことが主要因であり、通期業績の見通しは期初計画と変更ありません。

当社グループの所属する電子決済市場においては、スマートフォンを中心としたキャッシュレス決済サービスの更なる拡大、訪日外客数の継続的増加、大手金融機関などによるFintechを取り入れた新たな金融サービス創出などを背景に、市場の成長性は引き続き良好な状態が続いております。また中国などで爆発的に普及したQRコードを利用したスマートフォン決済が、国内においても普及する兆しを見せているなど、市場成長の更なる加速も期待されております。このような市況の下、当社は店舗での「決済」を起点とした集客・販促支援サービスを展開しており、独自電子マネー発行管理サービス「バリューカードASPサービス」の導入企業数・店舗数は引き続き堅調に推移しております。同サービスの平成30年3月末時点での導入企業数は620社、導入店舗数は56,170店舗となっております。ハウスプリペイドカード事業においては、スーパーマーケット・ドラッグストア業態や、飲食チェーンなどでの利用が引き続き好調であるほか、スマートフォンによるプリペイド決済・販促サービスの導入効果を受け、同様のサービスに対するニーズの拡大による受注が継続しております。海外事業においては、当社子会社であるVALUEDESIGNSINGAPORE PTE. LTD.（シンガポール）、Valuedesign(Thailand)Co.,Ltd.（タイ）及びVALUEDESIGN（MALAYSIA）SDN BHD（マレーシア）を通しての事業活動を継続しております。3月にはマレーシアの400店舗規模のコンビニエンスストアにおいてテスト導入を開始しており、5月には全店展開を予定しております。

セグメントの事業業績は、以下のとおりであります。

① ハウスプリペイドカード事業

ハウスプリペイドカード事業においては、プリペイド利用率の高いスーパーマーケット・ドラッグストア業態での稼働が引き続き好調であることに加え、スマートフォンアプリとプリペイドの連携や、上場企業における、株主優待券のプリペイドカード化等の要因により飲食チェーンでのプリペイド利用の活性化が進み、当第3四半期連結累計期間での取扱高（プリペイド入金額）は148.7%増の1,575億円となりました。また、3月度におけるシステム利用料売上は過去最高を記録しております。新規受注においては各販売代理店との連携の下、スーパーマーケットやホームセンター、大手飲食チェーンの受注が進んでおります。これらの結果、売上高は1,296,348千円（前年同期比20.3%増）となりました。またシステム利用料売上の増加（前年同期比26.8%増）などにより、売上総利益は売上高を上回る増加（前年同期比35.4%増）となった一方、販売費および一般管理費は増加を抑制（前年同期比11.9%増）したことにより、セグメント利益（営業利益）は239,737千円（前年同期比98.4%増）となりました。

② ブランドプリペイドカード事業

当セグメントにおいては、既存イシュー（カード発行会社）の提携先（注）における取引高及びそれに伴うシステム利用料収入の増加が継続しております。また、当第3四半期連結累計中に複数の新規サービスを稼働し、その開発売上が計上しております。一方、開発・運用体制の強化の為の外注費は継続的に発生したほか、新規サービスの開発原価は前期に比して上昇いたしました。この結果、売上高は235,996千円（前年同期比13.4%増）、セグメント利益（営業利益）は3,044千円（前年同期比94.1%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高1,532,344千円（前年同期比19.2%増）、営業利益57,584千円（前年同期比74,260千円増）、経常利益47,108千円（前年同期比92,069千円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益40,204千円（前年同期比117,983千円増）となりました。

（注）提携先とは、カード発行会社（イシュー）が運営する資金決済サービスを利用して、事業者自らの顧客（会員組織等）に対してプリペイドカード、会員カード等のサービスを行う事業者のことを指します。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて83,598千円増加し、1,391,714千円となりました。これは主として、売掛金が101,170千円増加、現金及び預金が21,388千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて21,720千円増加し、544,395千円となりました。これは主として、買掛金が41,665千円増加し、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が26,910千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて61,878千円増加し、847,319千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が40,204千円増加したことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	518,613	497,225
売掛金	252,163	353,333
たな卸資産	12,325	33,806
その他	34,206	33,740
貸倒引当金	△7,687	△5,437
流動資産合計	809,621	912,668
固定資産		
有形固定資産	247,449	274,933
無形固定資産		
ソフトウェア	214,563	156,473
その他	187	8,303
無形固定資産合計	214,750	164,776
投資その他の資産		
その他	36,589	39,614
貸倒引当金	△295	△278
投資その他の資産合計	36,293	39,335
固定資産合計	498,493	479,046
資産合計	1,308,115	1,391,714

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,284	112,950
1年内返済予定の長期借入金	34,805	22,880
未払金	87,680	78,065
未払法人税等	2,013	12,569
その他	81,002	104,823
流動負債合計	276,787	331,289
固定負債		
長期借入金	190,060	175,075
その他	55,828	38,031
固定負債合計	245,888	213,106
負債合計	522,675	544,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	694,446	699,751
資本剰余金	674,446	688,302
利益剰余金	△583,365	△543,161
自己株式	△129	△129
株主資本合計	785,398	844,763
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	42	△2,370
その他の包括利益累計額合計	42	△2,370
非支配株主持分	△0	4,926
純資産合計	785,440	847,319
負債純資産合計	1,308,115	1,391,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	1,285,843	1,532,344
売上原価	771,803	903,334
売上総利益	514,040	629,010
販売費及び一般管理費	530,716	571,425
営業利益又は営業損失(△)	△16,675	57,584
営業外収益		
受取利息	21	27
為替差益	1,481	313
その他	123	139
営業外収益合計	1,627	480
営業外費用		
支払利息	14,614	10,957
株式交付費	8,414	—
株式公開費用	6,883	—
その他	0	0
営業外費用合計	29,912	10,957
経常利益又は経常損失(△)	△44,961	47,108
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,961	47,108
法人税、住民税及び事業税	1,717	8,529
法人税等調整額	31,100	1,938
法人税等合計	32,818	10,467
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77,779	36,640
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△3,563
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△77,779	40,204

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△77,779	36,640
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	505	△2,729
その他の包括利益合計	505	△2,729
四半期包括利益	△77,274	33,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△77,274	37,791
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△3,879

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	四半期連結損益計算書計上額(注) 2
	ハウスプリペイドカード事業	ブランドプリペイドカード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,296,348	235,996	1,532,344	—	1,532,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,296,348	235,996	1,532,344	—	1,532,344
セグメント利益	239,737	3,044	242,782	△185,197	57,584

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△185,197千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。